

V 学校質問紙調査結果から見えてくる 成果と課題

1 学校質問紙調査について

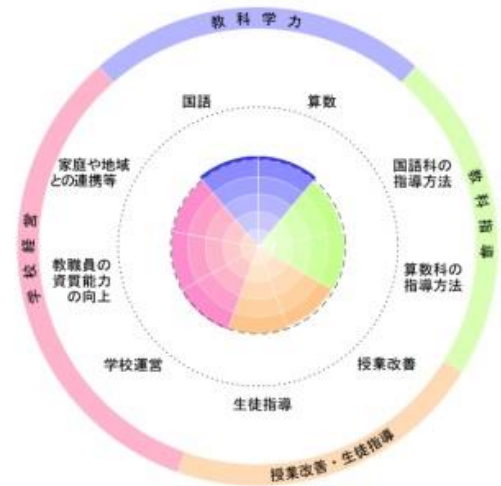
全国学力・学習状況調査では、質問紙調査項目を下記Ⅱ～Ⅳの領域に分けています。
また、これらの領域番号ごとに京都府（京都市を除く）の結果チャートを示しています。
各学校の結果にも学校ごとの結果チャートが掲載されているので、学校の現状が分かります。

【小学校】

結果チャート（内側の線が全国平均）

＜令和3年度調査の領域名と学校質問紙の質問番号の対応一覧表＞

領域番号	領域名		小学校学校質問紙 対応領域・項目番号
Ⅰ	1	教科学力	国語
	2		算数
Ⅱ	3	教科指導(※)	国語科の指導方法 (49)～(54)
	4		算数科の指導方法 (55)～(60)
Ⅲ	5	授業改善・ 生徒指導	授業改善 (29)(36)(37)
	6		生徒指導 (7)～(11)
Ⅳ	7	学校経営	学校運営 (16)(18)～(21) (91)
	8		教職員の資質能力の向上 (17)(22)～(28)
	9		家庭や地域との連携等 (80)～(84)



【中学校】

結果チャート（内側の線が全国平均）

＜令和3年度調査の領域名と学校質問紙の質問番号の対応一覧表＞

領域番号	領域名		中学校学校質問紙 対応領域・項目番号
Ⅰ	1	教科学力	国語
	2		数学
Ⅱ	3	教科指導(※)	国語科の指導方法 (49)～(54)
	4		数学科の指導方法 (55)～(60)
Ⅲ	5	授業改善・ 生徒指導	授業改善 (29)(36)(37)
	6		生徒指導 (7)～(11)
Ⅳ	7	学校経営	学校運営 (16)(18)～(21) (91)
	8		教職員の資質能力の向上 (17)(22)～(28)
	9		家庭や地域との連携等 (80)～(84)



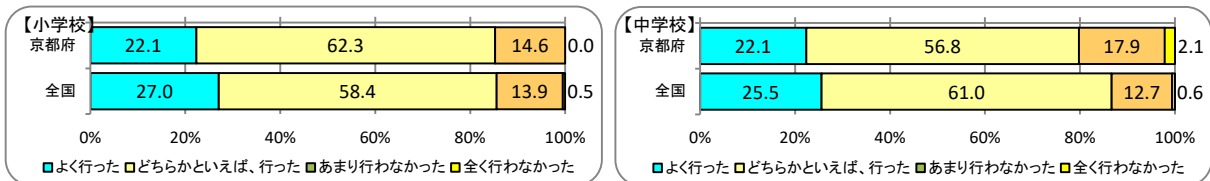
結果チャートに示された京都府（京都市を除く）の傾向を、領域ごとに次のページから見ていきます。

2 学校質問紙の調査結果について

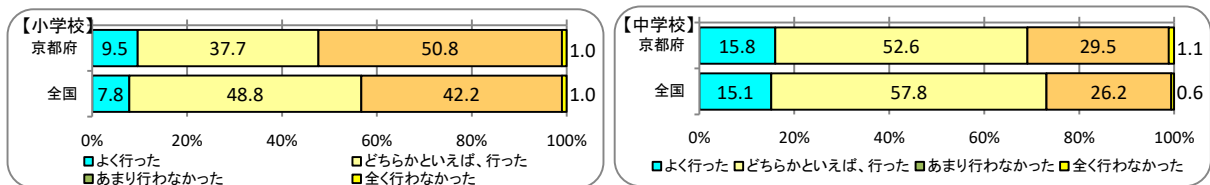
(1) 国語科の指導方法

京都府のデータは京都市を除いています

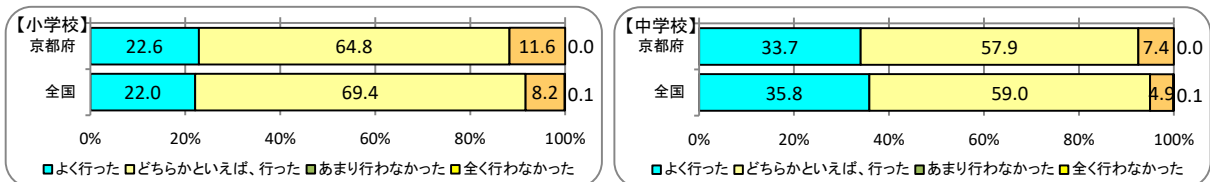
Q49：調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、補足的な学習の指導を行いましたか



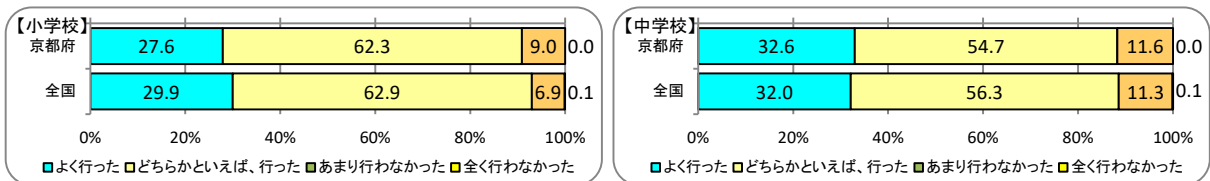
Q50：調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか



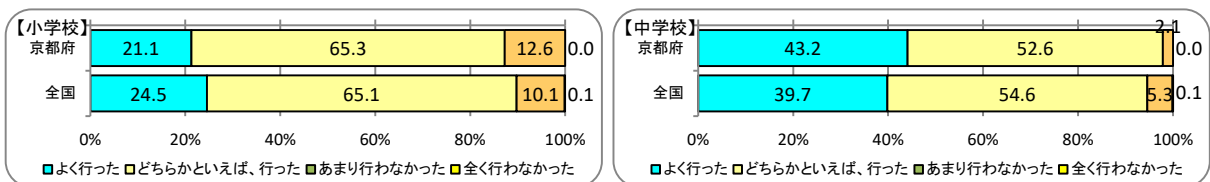
Q51：調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりする授業を行いましたか



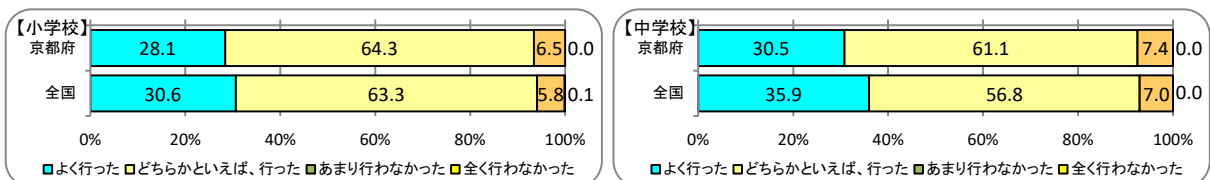
Q52：調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて自分の考えを話したり必要に応じて質問したりする授業を行いましたか



Q53：調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして書いたり、書き表し方を工夫したりする授業を行いましたか



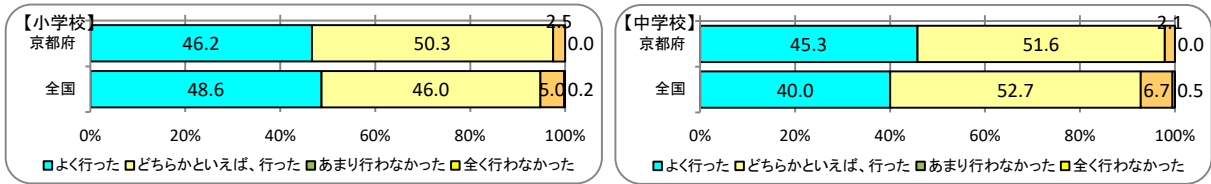
Q54：調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり自分の考えを広げたりする授業を行いましたか



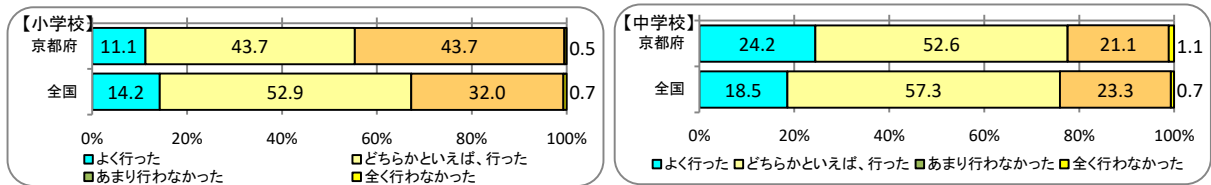
(2) 算数（数学）科の指導方法

京都府のデータは京都市を除いています

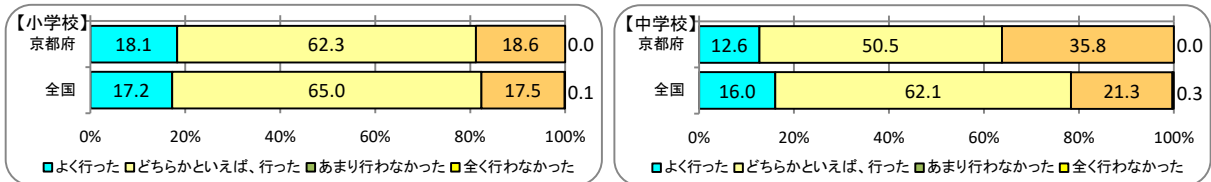
Q55：調査対象学年の児童生徒に対する算数〔数学〕の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか



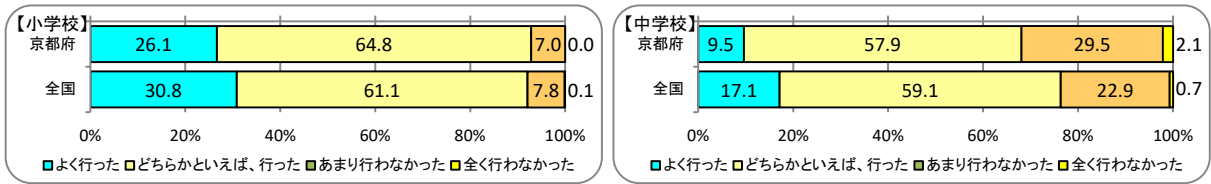
Q56：調査対象学年の児童生徒に対する算数〔数学〕の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか



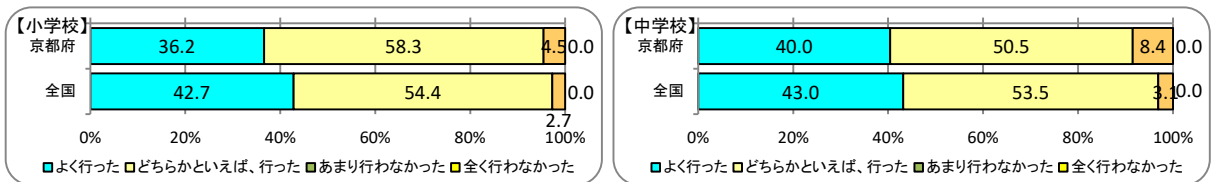
Q57：調査対象学年の児童生徒に対する算数〔数学〕の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか



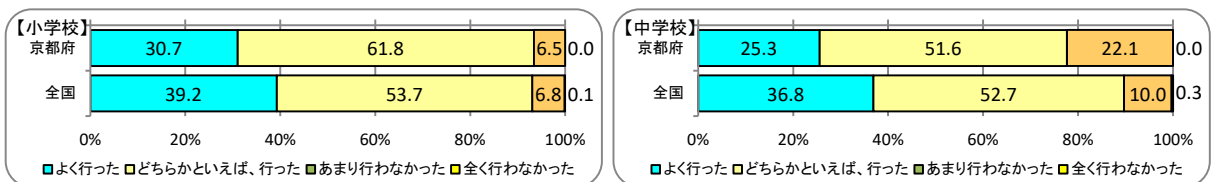
Q58：調査対象学年の児童生徒に対する算数〔数学〕の指導として、前年度までに、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を伴った理解をする活動を行いましたか



Q59：調査対象学年の児童生徒に対する算数〔数学〕の指導として、前年度までに、公式やきまり、計算の仕方などを指導するとき、児童生徒がそのわけを理解できるように工夫していましたか



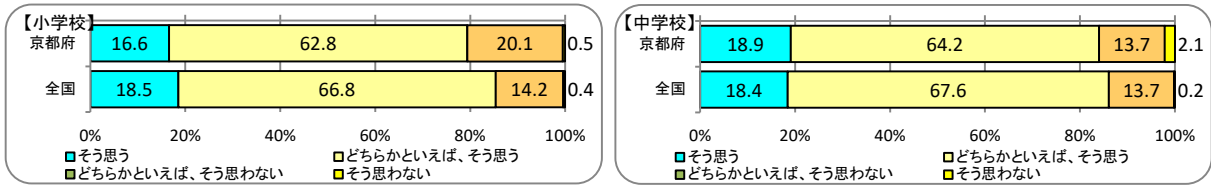
Q60：調査対象学年の児童生徒に対する算数〔数学〕の指導として、前年度までに、問題の解き方や考え方の過程が分かるように工夫してノートを書く指導を行いましたか



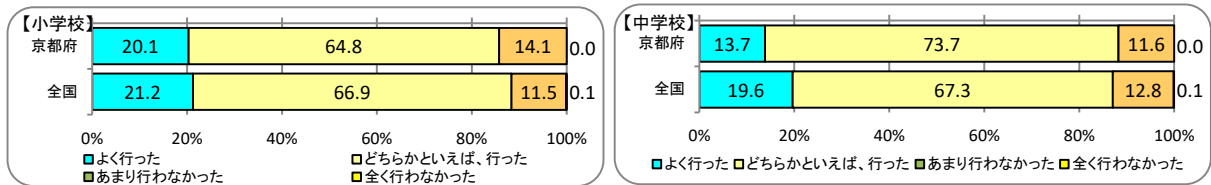
(3) 授業改善

京都府のデータは京都市を除いています

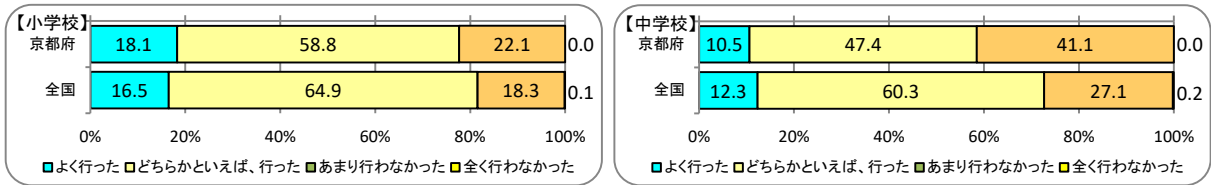
Q29：調査対象学年の児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか



Q36：調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をされましたか

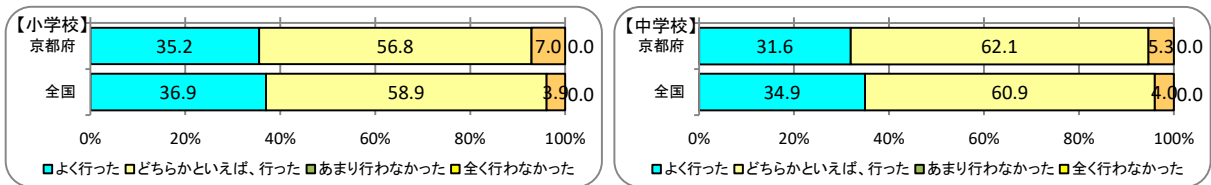


Q37：調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか

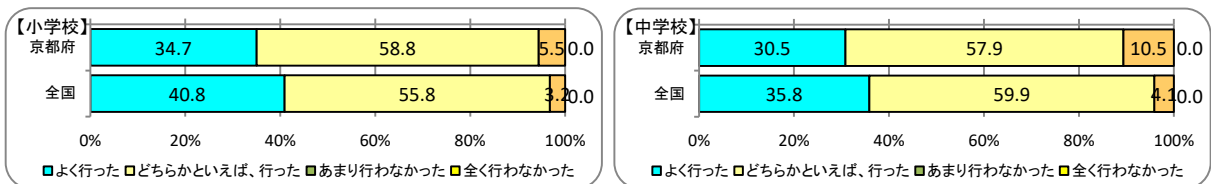


※学習評価

Q45：調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、児童生徒の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童生徒の学習改善に生かすことを心がけましたか



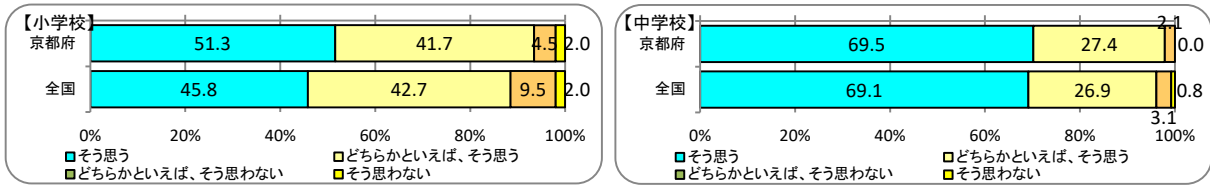
Q46：調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、児童生徒のよい点や改善点などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにしましたか



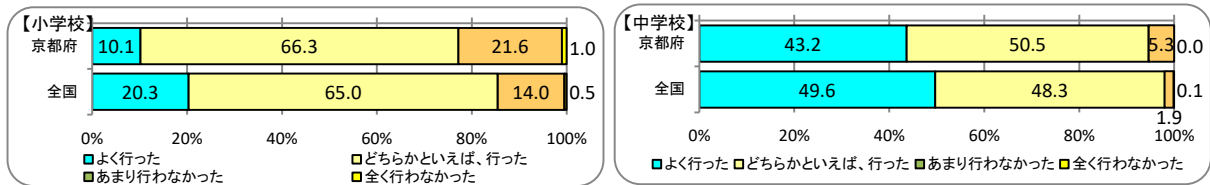
(4) 生徒指導

京都府のデータは京都市を除いています

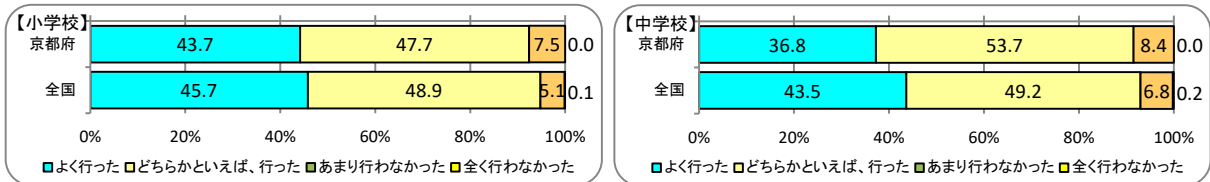
Q7：調査対象学年の児童生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか



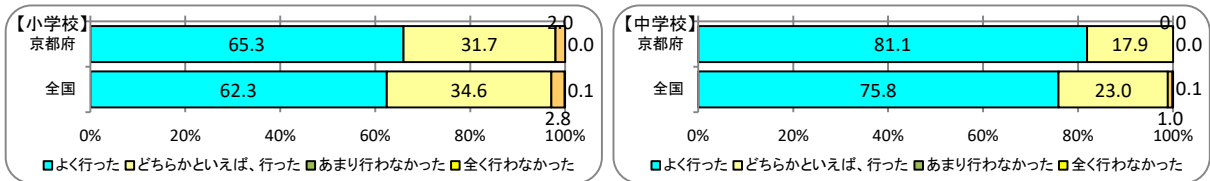
Q8：調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか



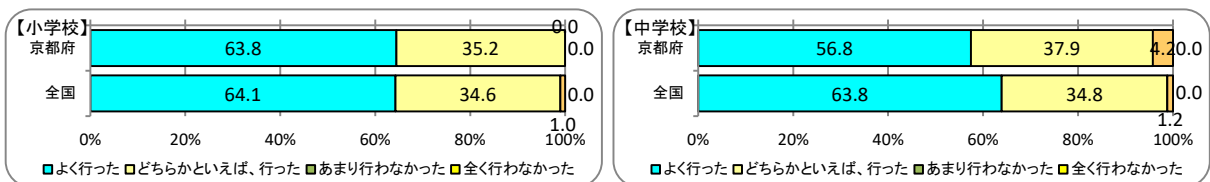
Q9：調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか



Q10：調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学習規律（他の人が話をしている時はしっかりと聞く、授業開始のチャイムを守るなど）を維持しましたか



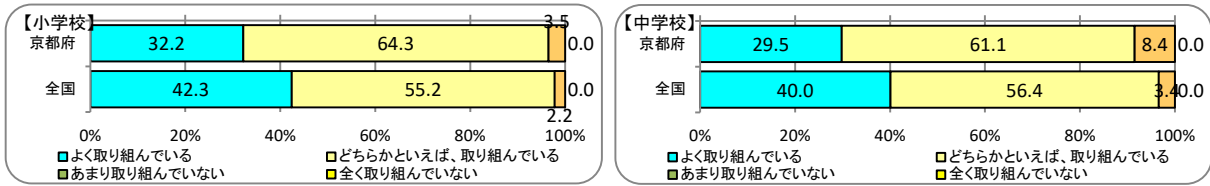
Q11：調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する（褒めるなど）取組を行いましたか



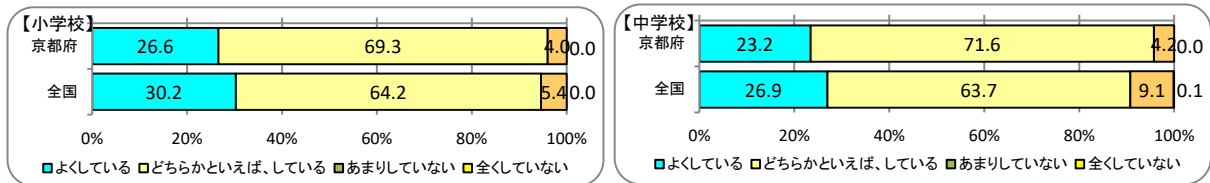
(5) 学校運営

京都府のデータは京都市を除いています

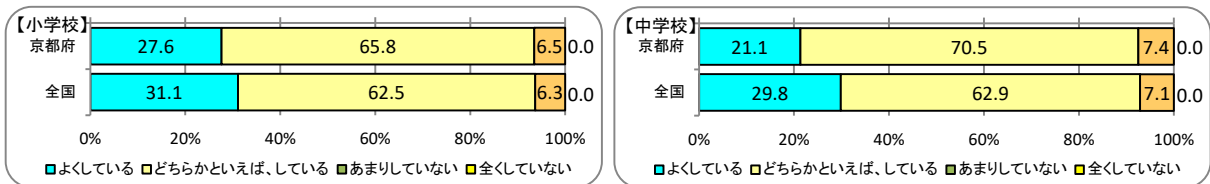
Q16：学校として、業務改善に取り組んでいますか



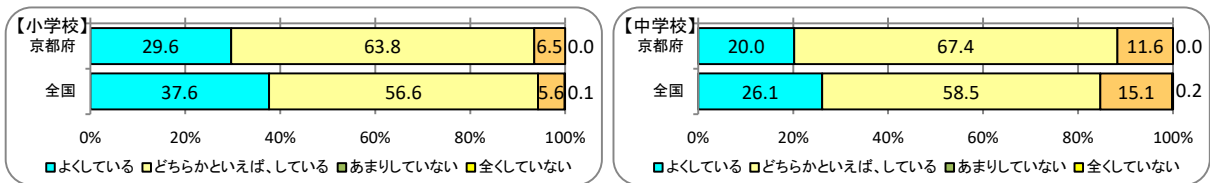
Q18：指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか



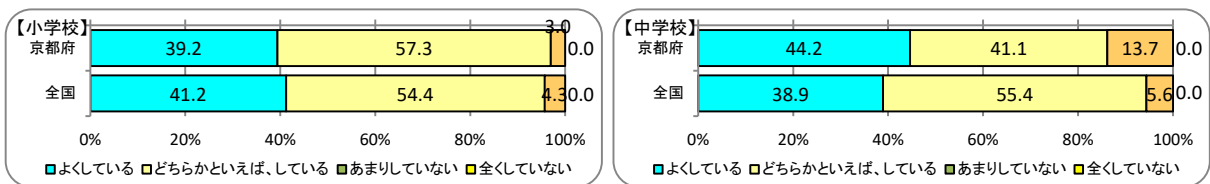
Q19：児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか



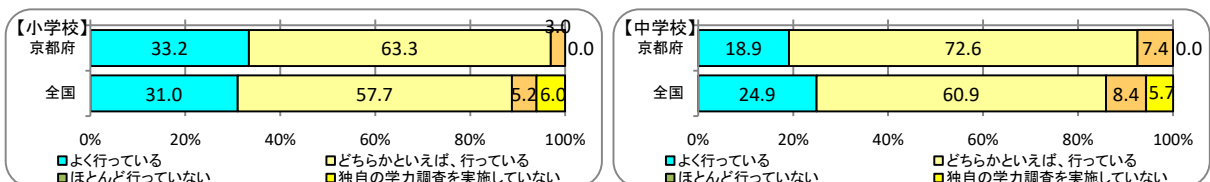
Q20：指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか



Q21：言語活動について、国語科だけではなく、各教科、特別の教科 道徳、[小：外国語活動、] 総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか



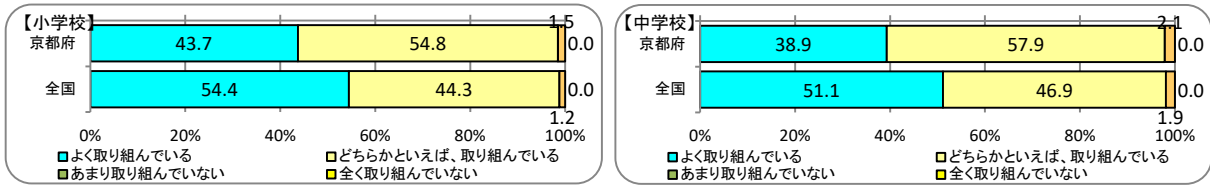
Q91：全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか



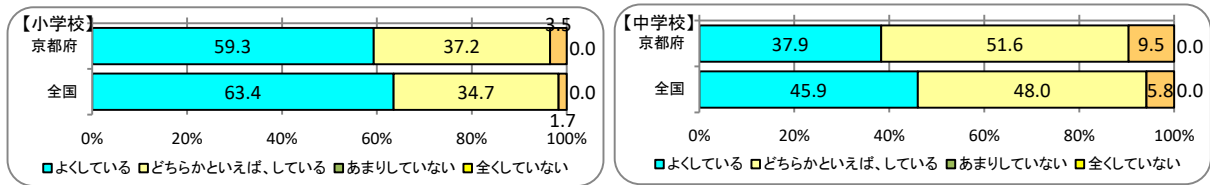
(6) 教職員の資質能力の向上

京都府のデータは京都市を除いています

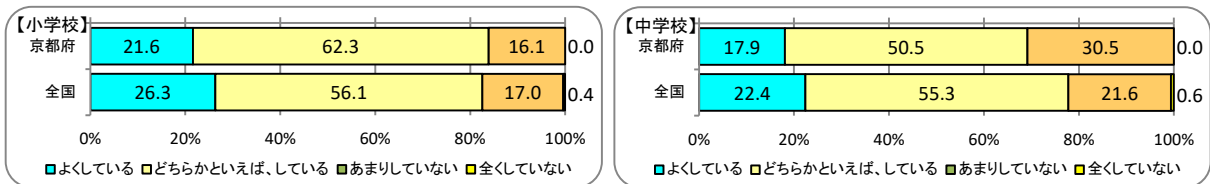
Q17：学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか



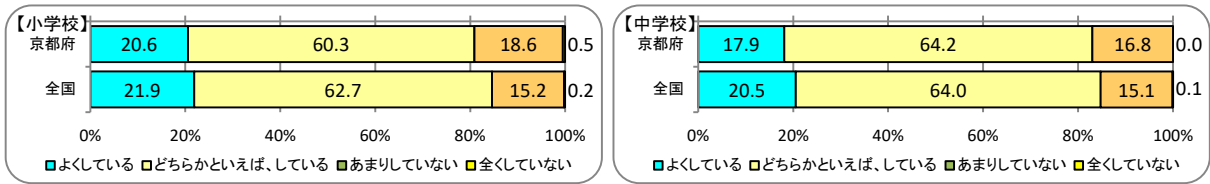
Q23：授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っていますか



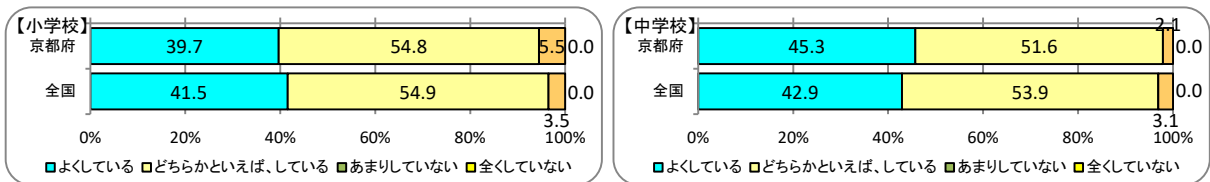
Q24：児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか



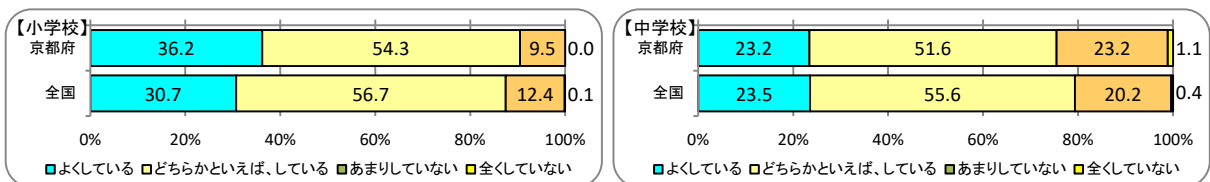
Q26：教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか



Q27：学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っていますか



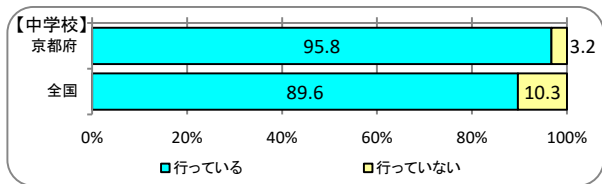
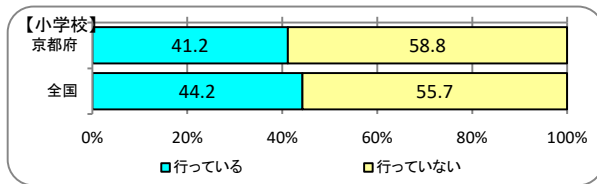
Q28：学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか



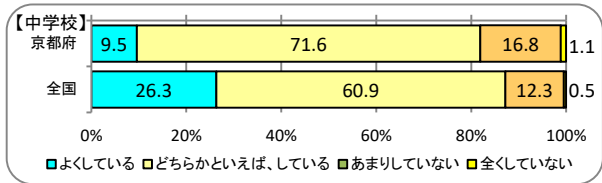
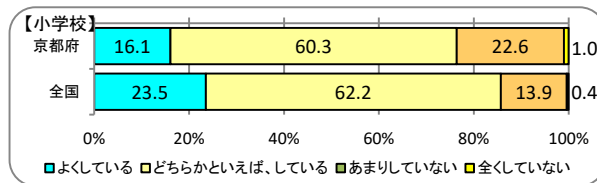
(7)家庭や地域との連携等

京都府のデータは京都市を除いています

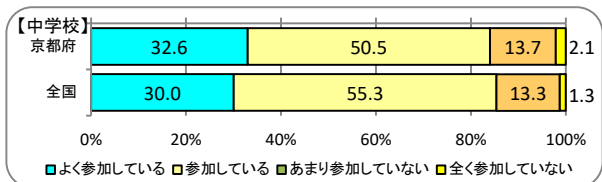
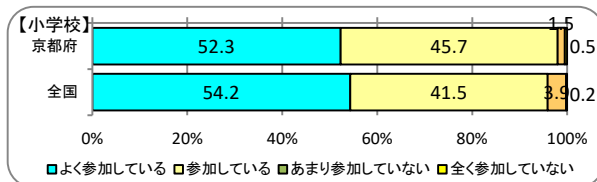
Q80：職場見学や職場体験活動を行っていますか



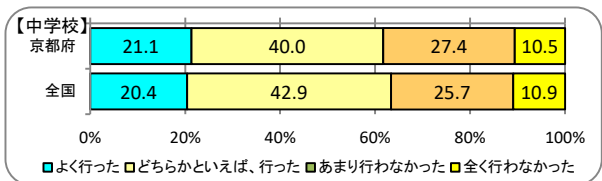
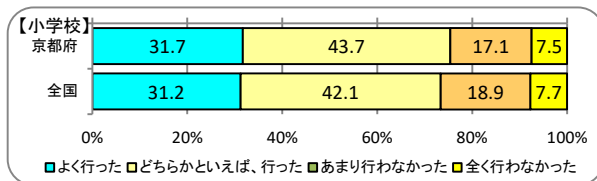
Q81：教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか



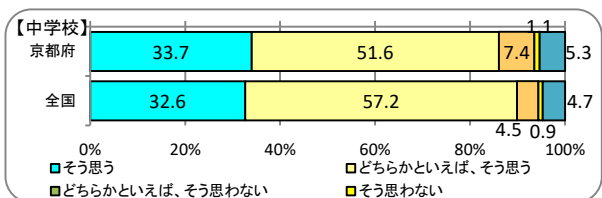
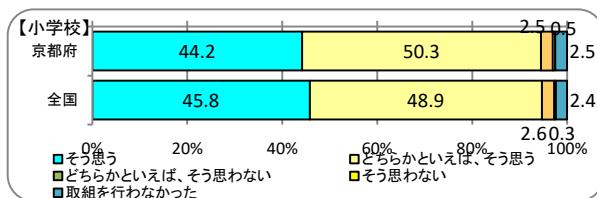
Q82：保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか



Q83：地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、(82)の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか



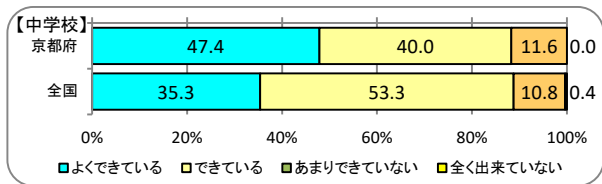
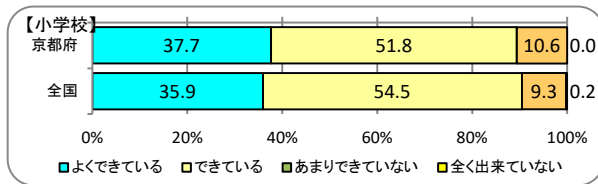
Q84：(82)の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか



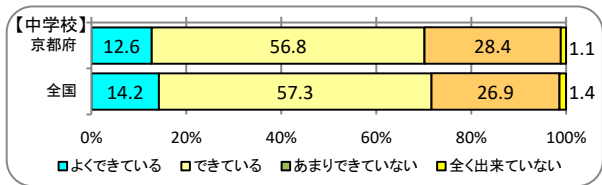
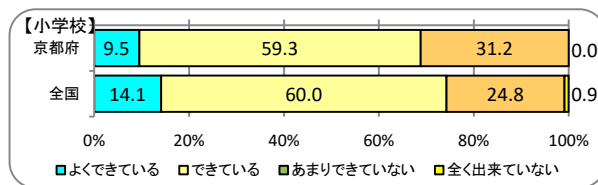
(8) その他

京都府のデータは京都市を除いています

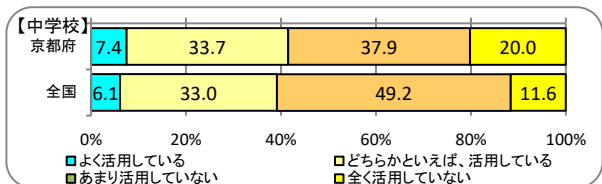
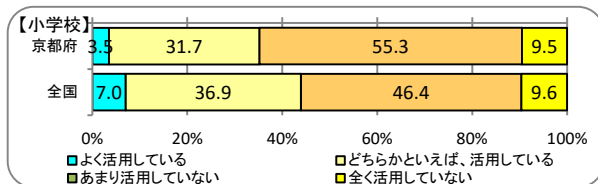
Q63：コンピュータなどのICT機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができていますか



Q65：コンピュータなどのICT機器やネットワークの点から、校務改善を行うための準備ができていますか



Q67：教員は、学習履歴（スタディ・ログ）をはじめとした様々な教育データを、児童の状況に応じた指導に活用していますか



QX1：新型コロナウイルス感染症の影響前（令和2年3月以前）と現在（令和3年5月）とを比較して、児童からの相談内容に変化があったのはどれですか（複数選択）

※「各項目に関する相談が増えた」と回答した割合を示しています。

